

WebClass 上で教材(授業資料)を設定する手順

2021/04/05 支援組織

基本的な教材アップロードの手順です。特殊な設定を行いたい場合は別途ご相談ください。

WebClass上に授業資料をアップロードする手順

授業資料として、文書ファイル(PDF形式)の教材を作成する

1.右側の[教材を作成する]教材を作成する]ボタンを選択します。



2.[教材を作成する]画面の一覧から、[資料]を選択します。

3.資料の設定画面が開きます。

基本設定

基本設定

(1)[タイトル]教材のタイトルを記入します。

(2)[アクセス制限]を[教材一覧で非表示にする]に変更します。

これは、作成中の資料を学生に見せないための設定です。課題の完成後、学生が見られるように公開する手順が必要になります。

[+] 教材実行時の制限

教材実行時の制限(必要な場合のみ)

教材公開の期間を設定したい場合のみ必要な手順です。不要な場合は(3)~(4)の手順を飛ばしてください。

(3)[+]教材実行時の制限を押して項目を開きます。

(4)[日時制限]を[する]に変更し、期間を適宜設定してください。

(5)教材実行時の制限のその他項目については、特に設定の必要はありません。

[+]ページ表示の設定~[+]コース管理者に対する教材編集・成績閲覧制限も特に設定不要です。

(6)ページ下部[資料作成:ページ編集]資料作成:ページ編集を選択します。

続けて、資料揭示画面の編集に移ります。

資料 作成/編集/削除 画面に切り替わります。授業資料ファイルはこちらの画面でアップロードします。

(7)[第 1 節タイトル]欄の記入は必須ではありませんが、見やすさの点からご記入することをお勧めします。

(8)[テキスト]欄には、教材に関する説明などを入力することが可能です。

ただし、(9)[取り込みファイル]に文書ファイルを設定している場合、テキスト欄は表示されません。

(9)[取り込みファイル]にはあらかじめ用意した教材ファイル設定することができます。

WebClass が対応している形式であれば文書・音声・映像ファイルをアップロードできます。

[参照...]ボタンを選択するウィンドウが開きます。教材として提示したいファイルを選択してください。

また、[添付ファイルとしても使う]にチェックを入れると、アップロードの際に同一ファイルを添付資料としても設定することができます。

文書形式の教材ファイルは、PDF 形式をおすすめいたします。学生の環境によらず、同じように閲覧することができます。

文書ファイルをアップロードした場合、(8)[テキスト]欄が無効になります。文章を記入しても反映されません。

(10)[取り込みファイル]を指定時、PDF でない文書ファイルは選択した形式に変換されます。

音声等文書ファイルでない教材ファイルや、PDF 形式のファイルをアップロードする場合は関係しません。

変換時にレイアウトが崩れる可能性もありますので、あらかじめ PDF 化したものをアップロードすることをお勧めします。

(11)[添付資料ファイル]にも資料をアップロードすることが可能です。(9)[取り込みファイル]と同様、ファイル形式は特に問いません。また、アップロードしたファイルが自動で変換されることはありません。

こちらにアップロードしたファイルは教材左側に[添付資料]のリンクが作成され、そこからダウンロードすることができます。

履修者にダウンロードしてほしいファイルは、こちらにアップロードすることをお勧めします。

(12)[保存]を押すと WebClass 上に設定した内容が反映されます。プレビュー欄を確認ください。

作業の途中で中断する場合も[保存]を押すとそれまでの入力内容が保存されます。

(13)[変更を保存して終了]を押し、コーストップ[教材一覧]画面に戻ります。

(14)作成した資料が表示されていることを確認します。作成された教材はこのように表示されます。
 先程(3)の手順で教材を非公開に設定したため、タイトル部分が灰色で表示されています。
 この状態のままでは学生は作成された教材を見ることはできませんので、続けて設定を変更します。

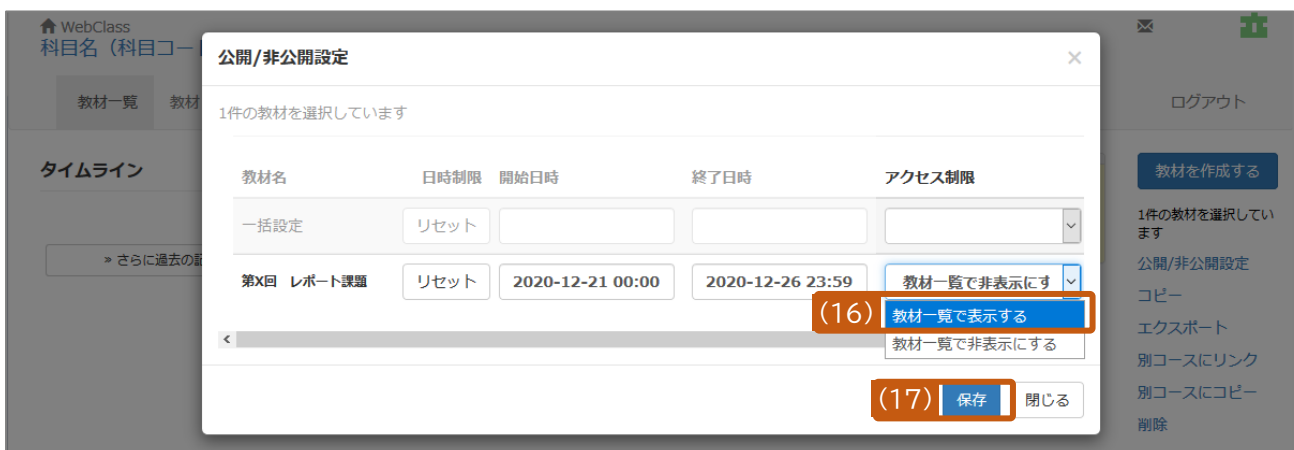


4.教材の公開/非公開の設定を行います。(学生が教材にアクセスできるようにする)

(15)教材右端の[…]を選択し、[公開/非公開設定]を選択します。



(16)アクセス制限-[教材一覧で表示]に変更します。



(17)[保存]を押し、教材のタイトル表示が青字に変わっていることを確認します。



以上、教材の基本的なアップロード手順になります。